

このたびホモフィクタス“オデュッセイ”クルーズにより、芥正彦演出で彼と彼等の今は亡き友人達の靈とともに、極めてバッショナブルに上演される、愉悦と残酷さに満ちた二夜のオペラパフォーマンスは、A=アルトーをはじめ、土方巽、寺山修司、J=ベック、阿部薫、三島由紀夫、オットー=ミュール、J=メカス、J=コルトレーン、J=ボロック等の今も輝く魂達に捧げられる。

〔ホモフィクタス 舞踏 オペラ〕

愛の法廷～“ヘリオガバルスもしくは戴冠せるアナキスト～”エロスの屠殺

“HEL·BABAL”

(I)「原理の闘争」/(II)「精子のゆりかご」

テキスト:アントナン=アルトー

〈身体アーティスト〉

舞踏・ダンサー・イヴェンター・
アクター&アクトレス・モデル

芥 正彦

大森政秀

首くくり榜象

室伏 鴻

松下正巳

山田有浩

志光朔吾

平井賢治

伊奈沢 光

田村泰二郎

小松 亨

田辺知美

堀 ようこ

川口茉莉

三坂知絵子

〈糸あやつり人形〉

結城一糸

結城敬太

金子展尚

結城 榮

結城民子

上演団体:

ホモフィクタス“オデュッセイ”クルーズ

2013/Dec.7th(sat), 8th(sun) 草月ホール

In 7:00p.m. Start 7:30p.m. 港区赤坂7-2-21 Tel.03-3408-9113

MASAHIKO AKUTA

愛の法廷～“ヘリオガバルスもしくは戴冠せるアナキスト～”エロスの屠殺
[ホモフィクタス 舞踏 オペラ] “HEL-GABAL”^(I)「原理の闘争」
^(II)「精子のゆりかご」

使用テキスト:「ヘリオガバルス」「アルトルモモ・此處に眠る」「神の裁きにケリをつける」ほか
構成・脚色・台本・演出: 芥正彦
音楽: tp. compose = 近藤等則
noise music=DFH-M3(日野蘭子+JUNKO+大西蘭子) P.A.etc=曾我傑
映像アート: 万城目純+韓成南・西山修平 メイキング=桜井均
口ビーパフォーマンス: 万城目純+ホワイトダイス
照明: 高良康成
美術: 中岡芳夫 宣伝美術: 工藤規雄+上野久美子
舞台監督: 海老沢栄 助手=平野貴大

■ 上演団体: ホモフィクタス“オデッセイ”クルーズ
■ 主催: 江戸糸あやつり人形座
■ 助成: 芸術文化振興基金
■ 制作: 万代博実 結城民子 渡辺喜美子 竹重伸一
■ 制作協力: くわはらよしこ 加古貴之 泰宣子 森澤友一朗 熊谷朋哉 福島オデュッセイ

ISSHI YUUKI

結城一糸 (ゆうき いっし)

十代目結城孫三郎の三男として1948年に生まれる。5歳初舞台。1972年三代目結城一糸襲名。2003年結城座から独立。2005年「江戸糸あやつり人形座」旗揚げ。古典糸あやつり人形の新たな掘り起こしと、新作においては、実験的な演劇を次々と産み出している。芥正彦との共同作業—2011年<アルトルモモ此處に眠る>。2011年9月<劇团創立7周年特別公演>「アルト-24時」好評のため2014年5月池袋芸術劇場にて再演決定。「江戸糸あやつり人形座」代表。

アントナン=アルトー (1896~1948)

シュールレアリスト、ダダイスト、詩人、俳優、演出家。アンドレ=ブルトンと決別し、“残酷”の演劇を創始。現代地下演劇の“父”、自らの身体を演劇の基底材とした“息子”、“肉体の場”に脳髄の種を盛り込み、「器官無き身体」として出産させた“母”でもある。

『ヘリオガバルス』執筆の後、メキシコ、アイルランドを経巡り、その途中、九年にわたり精神病院に強制入院、51回の電気ショックを受けるも生還した。

ヨーロッパという專制機械に、己が器官を通じて大地の野生機械を衝突させ、そこに発生したエネルギーと空虚を通じ、神、自然、歴史、国語を切斷し、圧縮し、生命の臨界をステージ化し、「俳優の身体は、それがベストであれ、血であれ、糞であれ、真理の通路でなくてはならない。」と宣言。“二十世紀の知のオデュッセイア”となった神話的天才。

代表作は他に「ヴァン・ゴッホー社会が自殺させた男」、「アルトル・モモ」、「神の裁きにケリをつける」等がある。

HEL-GABAL

(ヘリオガバルス) シリアからやってきた太陽崇拜の母たちによって、無理矢理身籠られ、出産され、幼くして古代ローマの皇帝に即位させられた、両性具有の狂気の美少年である。BC220年代、既にキリスト教支配の進んだ帝国にあって、太陽の生まれ変わりとして、ヘリオガバルス皇帝自ら反逆し、愛と狂気の限りを尽くす。その一瞬の光輝の裡に、便所で暗殺され、死体は、兵士らの血と精液と糞便とともに下水道の闇に流された、狂気と無拓の悲惨な生贋と化した少年皇帝である。アントナン=アルトーはこのヘリオガバルスに自らの生の元型を見出していた。そして土方巽は、ヘリオガバルスの精液の奔流、その美と狂気の錯乱を自らの「肉体の叛溢」を通じて発表し、当時のダンス界に革命的な衝撃をもたらし、「舞踏」というジャンルが生まれるに至った。

室伏 鴻 (むろぶしこう)

1947(昭和22)年、東京生まれ。1969年、土方巽に師事。'72年「大駱駝艦」旗揚げに参加。以後数多くの名舞台を踏む。'76年舞踏派「背火」を主宰。'78年自らプロデュースする「アリアドーネの会」と共にパリで『最期の楽園—彼方の門』を公演、舞踏が世界のButohとして認知される端緒をひらく。以後、孤高の舞踏家として世界各地で衝撃をもって迎えられる。Ko&Edge Co. 主催。

KO MUROBUSHI

公演日時 2013年12月7日(土)・8日(日) 開場7:00 開演7:30

会 場 草月ホール 港区赤坂7-2-21 Tel.03-3408-9113

入 場 料 (全席自由席) 前売:4,000円 当日:4,500円 学生:2,500円



青山一丁目駅（銀座線、半蔵門線、大江戸線）徒歩5分。
4番出口をカナダ大使館・赤坂郵便局方面へ出て、
信号を渡り直進。カナダ大使館、公園の先右側が草月ホール。

お問い合わせ

江戸糸あやつり人形座 Tel. 042-201-5811 結城:090-6534-3023 渡辺:080-5538-6407

アルファエージェンシー Tel. 03-5790-7888 ホモフィクタス Tel. 03-3351-9429

ヘリオガバルス・ウェブサイト <http://www.akutamasahiko.com>

TOSHINORI KONDO

近藤等則 (こんどう としのり)

1948年、愛媛県今治生まれ。中学時代からトランペットを始め、京都大学卒業後に上京し、フリージャズの道へ。1978年以降、ニューヨークを皮切りに、グローバルな音楽活動を世界各地で展開。1993年よりアムステルダムに活動拠点を移し、「地球を吹く」シリーズを開始。2012年、日本に戻り、精力的に活躍。芥正彦とは1984年「淨められた夜」「展覧会の絵—ジャクソンボロック」1987年「ロマノフの海」などでコラボレーション。